

校区内での不審者情報



校区内での不審者情報が入りましたのでお伝えします。

7月7日(月)の15時頃、御園町地内の市川物産あたりで、女子小学生が後ろから来た自転車の男に「ワッ」と驚かされるという事件がありました。

男は、小学生を驚かせた後、「びっくりしたやる」と言って走り去ったそうです。

不審な男は、50～60歳代ぐらいで、大きな眼鏡をかけ、麦わら帽子型の黄土色の布地の帽子をかぶり、黒いポロシャツのような服に青いズボンだったそうです。また、白髪交じりの頭髪で、上の前歯が2本しかなかったそうです。乗っていた自転車の色はシルバーだったそうです。5月にもその男を見かけたそうですが、普段は御園町で見かけない人ようです。

学校では、生徒たちに不審者の情報を伝えるとともに、十分に注意するよう指導しました。ご家庭におかれましても、ご指導のほどお願いします。

地域の子どもは地域で守る。 皆様のご協力をよろしくお願いします。

校内へのバイク侵入

本校の周りでは、大音量の排気音を響かせたバイクが時折走り回ることがあります。先日は、そのようなバイクが授業時間中の運動場を走り回るといったことがありました。昨日も13時30分頃、運動場へ侵入し、ひとまわりして出て行きました。

学校では、こういったバイクが学校内に侵入した場合は、即座に警察へ連絡し、バイクの情報(形や大きさ、色などの特徴)を細かく伝え、警察の出動を要請しています。連絡を受けた警察は、すぐにパトロールカーで学校へ来ていただき、情報の確認をするともに周辺のパトロールを行っていただいています。



子ども自身の考える力をはぐくむ

信じられないような事件が連続して起きています。

あちこちで起きる発砲事件に、「大人が学校まで迎えに行っても、発砲されたら守りきれないでしょう!」と憤るお父さんや、「何をしたらいいかわからない!」というお母さんの声が聞こえてきます。

また逆に、最近子どもの誘拐事件等が起きていないことから、防犯に対する意識が薄れてきたことに危機感を覚えるという意見もよく耳にします。

さて、このような混乱した状態のときに、保護者がすべきことは何なのでしょう? まず落ち着いて考えてみることです。

子どもを取り巻く危険は「犯罪」「事故」「病気」「いじめ・虐待」「災害」「環境問題」などさまざまです。その全体像をつかんで、どの分野もバランス良く子どもたちを見守ることを心がけましょう。不安や疑問に思ったことは、親子で調べて対策を考え、小さな工夫をしてみてください。

危機管理は生涯続けていくことです。

子どものうちから家庭で、前向きな対策をとる習慣をつけておくことが子どもたちの将来に好影響を与えます。どんな苦境にあっても立ち向かえる、臨機応変に対応できる力を育てていきたいですね。

